

2012年3月期 決算説明会

株式会社 エフピコ
2012年 5月14日



本資料取扱のご注意



本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

◆ <u>実績報告</u>	経理財務本部長	瀧崎 俊男 4
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘 10
◆ <u>業績状況と企業規模拡大</u>	代表取締役社長	佐藤 守正 19
◆ 添付資料		 31

実績報告

2012年3月期

経理財務本部長
瀧崎 俊男

販売状況 (2012年3月期)



単位: 百万円	第4四半期累計 実績				増減	前年比	数量 伸長率	第4四半期累計 計画		
	11/3月期	構成比	12/3月期	構成比				12/3月期	構成比	達成率
トレー 容器	28,045	19.9	28,681	18.4	+ 635	102.3%	102.9%	29,500	18.4	97.2%
弁当・惣菜 容器	71,860	51.1	76,842	49.4	+ 4,982	106.9%	105.4%	79,700	49.8	96.4%
小計	99,906	71.0	105,524	67.8	+ 5,617	105.6%	104.4%	109,200	68.3	96.6%
その他 製品	4,645	3.3	7,566	4.9	+ 2,920	162.9%		7,800	4.9	97.0%
【製品】	104,551	74.3	113,090	72.6	+ 8,538	108.2%		117,000	73.1	96.7%
包装資材	27,292	19.4	33,627	21.6	+ 6,334	123.2%		34,000	21.3	98.9%
その他 商品	8,876	6.3	8,963	5.8	+ 87	101.0%		9,000	5.6	99.6%
【商品】	36,168	25.7	42,591	27.4	+ 6,422	117.8%		43,000	26.9	99.0%
【売上高】	140,720	100.0	155,681	100.0	+ 14,961	110.6%		160,000	100.0	97.3%

■ 製品

汎用および軽量化製品の拡販、新デザインや新機能製品が好調

- ・出荷枚数 : 前年比104.4%伸長
- ・製品価格 : 第2四半期に実施した製品値上げの影響が32億円
- ・トレー容器 : 汎用トレーの伸長
一軸延伸により強度UP・軽量化したPETトレーが好調
- ・弁当・惣菜容器: 耐寒・耐熱 発泡PS容器のマルチFPが好調
嵌合折り蓋式容器SAシリーズ、
汎用タイプのフードパックが好調
漏れにくい電子レンジ対応容器(タルク)
軽量化製品の刺身・寿司容器が好調

■ その他製品

鶏卵パック、農産品の容器、フィルム袋など新規マーケットへ進出

- ・鶏卵パックをはじめ農産品向け容器を製造販売する
ダイヤフーズ(株)を連結グループ化
- ・農産品の容器、フィルム袋

■ 商品

食品包装資材の取扱量を拡大

- ・包装資材問屋インターパック(株)を連結グループ化

決算概要 (2012年3月期)



	第4四半期累計 実績						第4四半期累計 計画		
	11/3月期		12/3月期		増減	前年比	12/3月期		達成率
単位:百万円		構成比		構成比					
【純売上高】	140,720	100.0	155,681	100.0	+ 14,961	110.6%	160,000	100.0	97.3%
製品売上高	104,551	74.3	113,090	72.6	+ 8,538	108.2%	117,000	73.1	96.7%
商品売上高	36,168	25.7	42,591	27.4	+ 6,422	117.8%	43,000	26.9	99.0%
【営業利益】	13,058	9.3	14,221	9.1	+ 1,162	108.9%	14,494	9.1	98.1%
【経常利益】	13,465	9.6	14,951	9.6	+ 1,486	111.0%	14,900	9.3	100.3%
【当期利益】	7,959	5.7	8,093	5.2	+ 134	101.7%	8,600	5.4	94.1%

※営業外収益に計上されている 障がい者雇用にかかわる補助金に配慮

補助金収入	496		611		+ 115	
【営業利益】	13,554	9.6	14,832	9.5	+ 1,278	109.4%

- ・合理化 : 製品の軽量化、素材切替、製品アイテム数の絞込み、生産および物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善
- ・販売面 : 汎用製品および軽量化製品の拡販、5つの新しいシートを中心とした新製品の販売が好調
- ・生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化
- ・物流面 : 需要に即した供給体制の構築、物流品質およびサービスレベルの向上、流通コストの削減を推進
- ・特 損 : 震災対応費用 2億4千万円

2012年3月期 経常利益 増減要因



単位: 億円

上期 下期

2011年3月期 134.7億

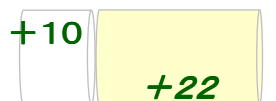
上期 68.3億 下期 66.4億

-37億 原料値上り



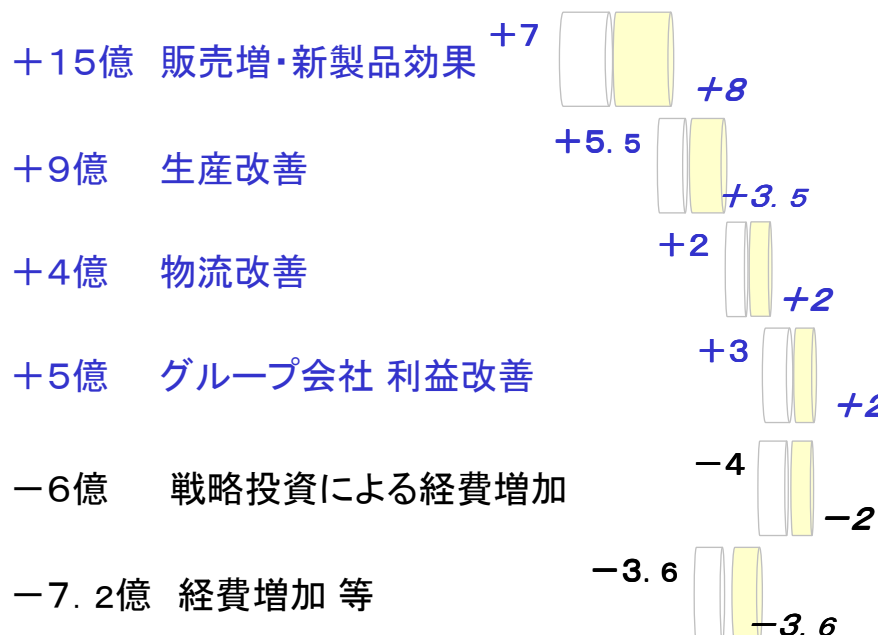
原材料価格 '11年初旬より急騰

+32億 製品値上げ



製品値上 第2四半期より効果
不採算取引の見直し

+33億 利益改善



'12年3月期 売上高 **1,557億** 110.6%
製品売上高: **108.2%** +85.4億
製品売上数量: **104.4%**
商品売上高: **117.8%** +64.2億

グループ会社
既存グループ会社の改善
・(株)アルライト
・インターパック(株)
・ダイヤフーズ(株)
各社の通年寄与

-13.2億 経費増

戦略投資
・アイ・ロジック中部ピッキング '11/5
・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 稼動
・関東八千代工場(関東新工場) '12/5 稼動
・クロネス2号機 '12/6 稼動予定

上期 69.2億 下期 80.3億
前期比 +0.9億 101.3% 前期比 +13.9億 121.0%

2012年3月期 149.5億
前期比 +14.8億 111.0%

設備投資・研究開発費 (2012年3月期)



		第4四半期累計 実績				第4四半期累計 計画	
単位:百万円		11/3月期	12/3月期	増減	前年比	12/3月期	進捗率
設		12,585	12,423	△ 162	98.7%	12,020	103.4%
備	有形固定資産	12,352	12,093	△ 259	97.9%	11,730	103.1%
投	内、土地	218	403	184		255	
資	無形固定資産	232	329	96	141.6%	290	113.4%
	減価償却費	9,316	9,728	412	104.4%	10,030	97.0%
	研究開発費	1,101	1,051	△ 49	95.5%	970	108.4%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

		百万円
◆	関東八千代工場(関東新工場)	2,980 (投資総額 8,700百万円) '12/5稼動
◆	リサイクル工場整備	631
	回収選別・PSPリサイクル	436
	PETリサイクル	PETメカニカルリサイクルプラント2号機 (投資額 680百万円) '12/6稼動予定
◆	ピッキングセンター	1,187 (投資総額 2,217百万円) '11/5稼動
◆	金型	1,945
◆	IT投資	511

キャッシュ・フロー (2012年3月期)



単位:百万円	第4四半期累計 実績	
	11/3月期	12/3月期
営業活動による C/F	14,291	16,240
投資活動による C/F	△ 8,201	△ 9,508
フリー・キャッシュフロー	6,089	6,732
財務活動による C/F	△ 3,919	△ 6,095
現金及び現金同等物の増減額	2,170	636
現金及び現金同等物の期末残高	13,273	13,909

■ 営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	14,569	百万円
減価償却費	9,728	
仕入債務の増加	2,662	
売上債権の増加	△5,785	
たな卸資産の増加	△2,297	
法人税等の支払	△4,942	

■ 投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得	△9,241
-----------	--------

■ 財務活動によるキャッシュフロー

借入金の純減少額	△1,077	百万円
リース債務の返済	△2,611	
配当金の支払額	△2,398	

■ 現金及び現金同等物

前連結会計年度末より 636百万円増加

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

連結決算のポイントと今後の見通し

☆ 原材料価格 急騰 への 対応

徹底した製品軽量化
製品価格への転嫁
値引き削減・不採算取引の見直し

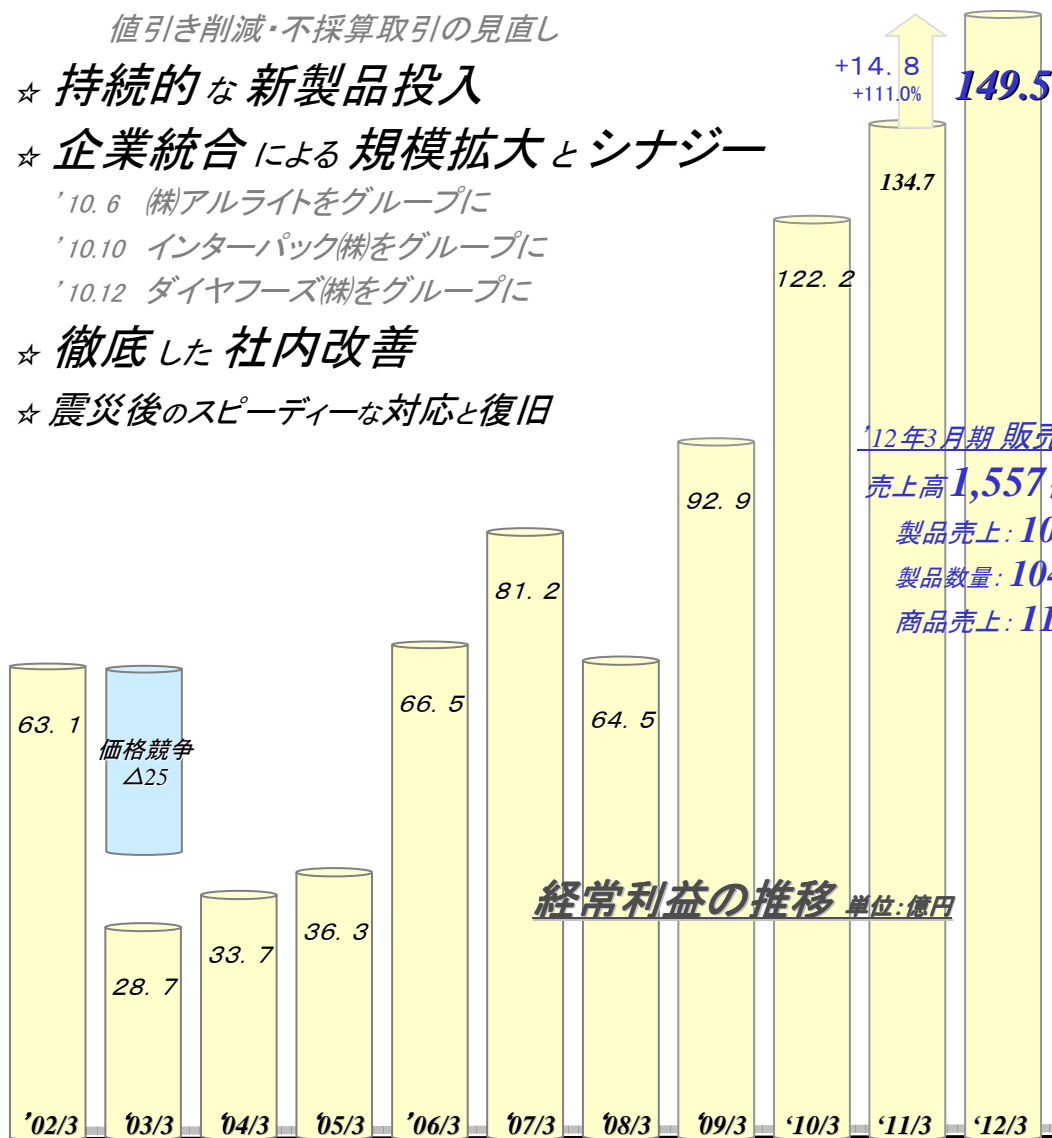
☆ 持続的な新製品投入

☆ 企業統合 による 規模拡大とシナジー

'10.6 (株)アルライトをグループに
'10.10 インターパック(株)をグループに
'10.12 ダイヤフーズ(株)をグループに

☆ 徹底した 社内改善

☆ 震災後のスピーディーな対応と復旧



» 世界初の素材・機能

- ※ MFP(マルチFP)
- ※ PET一軸延伸
- ※ PET二軸延伸
- ※ 新透明PP
- ※ 新発泡PP
- ※ 新デザイン・新機能
- ※ エコAPシリーズ

= 持続的な新製品投入 =

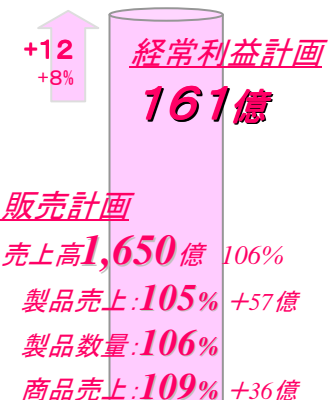
» 戦略投資

- '11.5 アイ・ロジック中部ピッキングセンター
- '12.4 アイ・ロジック関東ピッキングセンター 稼動
- '12.5 関東八千代工場(関東新工場) 稼動
- '12.6 クロネス2号機 稼動

» 企業統合 による シナジー

» 徹底した 社内改善

» 地上資源の循環

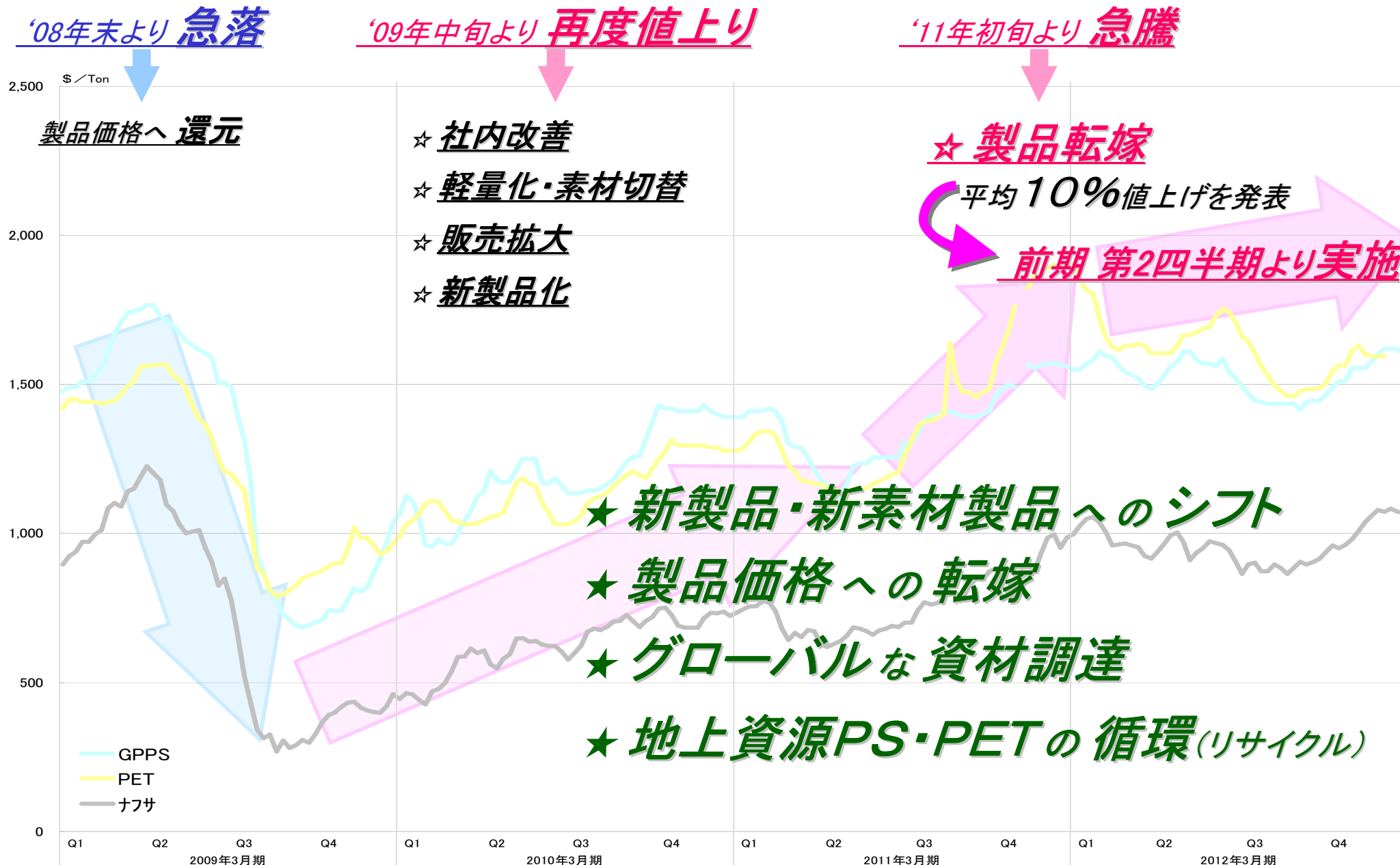


目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **450**円

設備投資計画
145億

'13/3



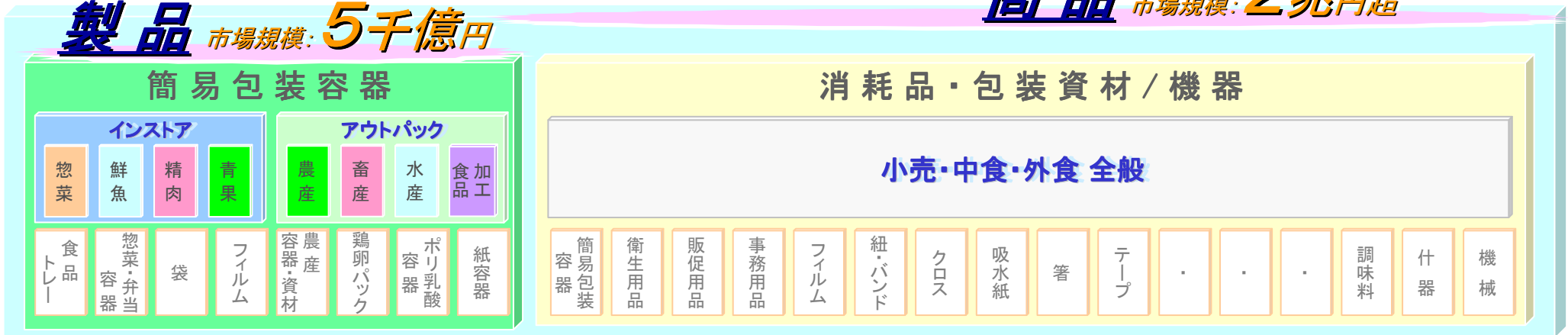
マーケットへの取り組み

＝ご参考＝



製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野で
優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

物流ネットワーク & SCM

エピコグループの優位性

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

エピコ

サプライヤー

製品 5千億円マーケットでの販売拡大



5つの新シート+αでシェア拡大

② PP 耐熱透明

耐熱: +120°C
 透明度アップ: ヘイズ値1.5を実現
 MFP弁+PP耐熱透明蓋



① MFP(マルチFP)

広い温度帯をカバー: -40°C ~ +110°C
 断熱性: レンジアップしても、手で持て、軟化変形しにくい



⑤ 新発泡PP (新HS)

1.8倍発泡 → 3.5倍発泡



③ PET二軸延伸 透明 夏予定

耐熱アップ: +80°C
 強度アップ: 更なる軽量化が可能
 シート厚みmm: 0.20~0.18



④ PET一軸延伸 透明

耐熱アップ: +70°C
 強度アップ: 軽量化が可能
 シート厚みmm: 0.23~0.21 ← (従来0.32~0.30)

④' エコAPシリーズを5月に上市

CO2削減
 環境負荷低減

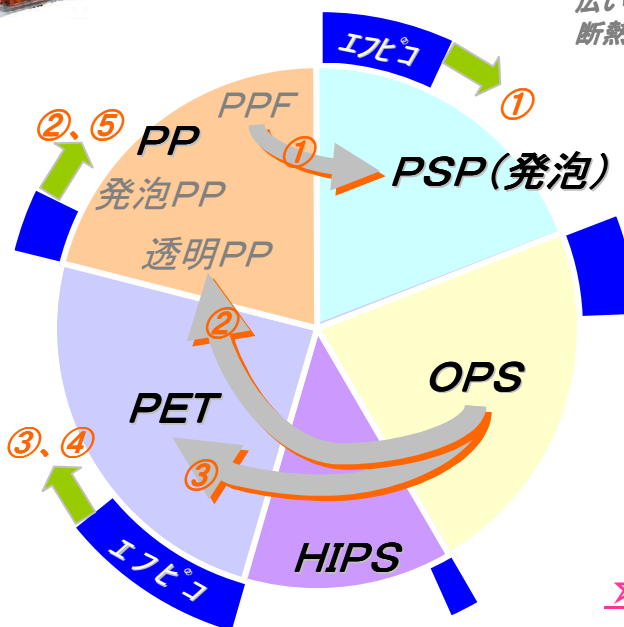


図: 素材別 シェア (重量ベース)

★ 弁プロジェクト
 ★ MFP 端材活用

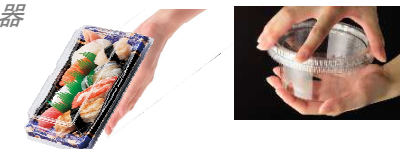
☆ 新マーケット

- ・農産品向け 容器・軟包装(フィルム)
- ・食品加工メーカー向け 容器
- ・鶏卵パック
- ・紙 容器



☆ 新機能・デザイン

- ・スクリータイプ 容器 (漏れにくい・繰り返し使える)
- ・漏れにくい 容器: PET, PP
- ・内容物がずれにくい 容器
- ・ボリューム感の訴求
- ・新デザイン 容器



PS : ポリスチレン
 PSP : 発泡ポリスチレン
 OPS : 透明ポリスチレン
 PET : ポリエチレンテレフタレート
 PP : ポリプロピレン

今期 **1,800** 品種の新製品を投入

『エフピコフェア 2012』開催

12年2月22・23・24日 東京国際フォーラム

来場者: 1万2千人

商品(包装資材・消耗品) 2兆円マーケットへの挑戦



6拠点10万8千坪の配送Cと

11拠点3万5千坪のピッキングCから **高品質で効率的な物流サービスを提供**

☆ PCデリバリー精度 **3ppm(百万分の3)以下** ☆



'13年度

トータルで**15万8千坪** 東京ドーム**10**個分超の規模に

調達力+物流力で共同仕入、共同配送の拡大

環境と障がい者雇用が一体化した事業

「エコマーク
認定店舗」
スタート

-'12年3月期-

8,200 拠点

8,550 トン 回収

地上資源の循環

166億円 販売

回収

選別工場
(9工場)

リサイクル工場
(3工場)

発泡トレ- + OPS透明容器

PSペレット

PET透明容器 + PETボトル

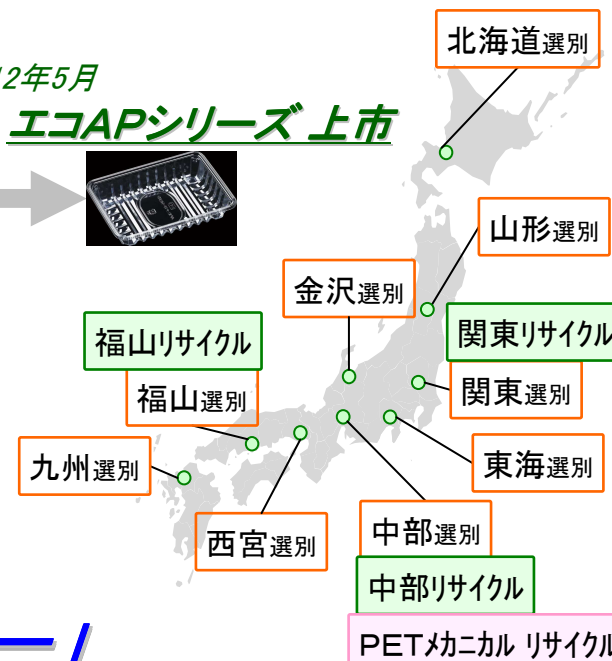
PETリサイクル工場
(1工場)

PETフレーク

1+2号機稼動で
14,000トン/年の再生能力

'12年5月
エコAPシリーズ 上市

- ・発泡PS容器と透明容器の選別
- ・選別減容後にリサイクル工場へ
- ・選別工程には障がい者の就労



'12年3月末

障がい者雇用数: 678 (雇用実人数399名) 法定雇用率: 16.3%

「トレ- to トレ-」 + 「ボトル to トレ-」

成型加工メーカー + 再生レジ-ンメーカーへ



関東八千代工場



☆ 関東八千代工場の新設

‘11年4月着工、’12年4月竣工、
3層 延14,500坪(1階:生産工場 2階:ピッキング 3階:倉庫)

✓ ‘12年4月、物流機能 稼動

投資総額 **87億**

✓ ‘12年6月、PET二軸延伸製品 生産開始

= 関東新工場の正式名称は関東八千代工場に =

☆ リサイクル事業の拡大

PETリサイクルは年間14,000トンの再生能力

✓ ‘12年5月、エコAPシリーズ上市

✓ ‘12年6月、中部にてPETリサイクルプラント2号機 稼動

✓ PETリサイクル事業拡大に向け関東・福山へプラント展開予定



☆ ピッキングセンター拡充

土地取得等 **15億**

✓ 来期建設に向けて、西宮ピッキングセンター及び福岡ピッキングセンターの拡充用地取得

✓ 東北地区復興に備え東北工場をピッキングセンターへリニューアル

☆ ダイヤフーズ設備更新

‘13年3月期 設備投資総額 **145億円**を予定

長期目標に向けて



5千億円マーケットでのシェア拡大

製品売上



- ・製品拡販 +45億
 - ・製品値上 +12億
- (前期実施)



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット創造
- ☆ M & A
- ☆ 持続的な新製品投入

製品
2,000億
製品経常利益率 10%

設備投資計画
145億

- » 製品/素材力
- » 提案力
- » 調達力
- » 物流力
- » 環境経営
- » 社会責任
- » インフラ

総合力 + M&A

2兆円マーケットへの挑戦

商品売上



・取扱商品拡大 +36億



- ☆ BtoB 取組 加速
- ☆ 問屋サポート(インフラ活用)
 - ・共同仕入
 - ・共同配送
 - ・グローバル調達

仕入商品から
メーカー製品へ

商品
3,000億
商品経常利益率 5%

売上高	1,249億	1,407億	1,557億	1,650億	2,000億	5,000億
経常利益	122.2億	134.7億	149.5億	161億		
	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3計画		
					経営目標	長期目標
					1株当り当期純利益 450円 ⇒ 500円へ	

業績状況と企業規模拡大

代表取締役社長
佐藤 守正

決算計画概要 (2013年3月期)



	実績		計画				中間期		
	12/3月期	構成比	13/3月期	構成比	増減	前年比	中間期	構成比	前年比
【純売上高】	155,681	100.0	165,000	100.0	+ 9,318	106.0%	81,300	100.0	105.7%
製品売上高	113,090	72.6	118,800	72.0	+ 5,709	105.0%	58,600	72.1	105.1%
商品売上高	42,591	27.4	46,200	28.0	+ 3,608	108.5%	22,700	27.9	107.5%
【営業利益】	14,221	9.1	15,890	9.6	+ 1,668	111.7%	7,400	9.1	112.3%
【経常利益】	14,951	9.6	16,100	9.8	+ 1,148	107.7%	7,500	9.2	108.4%
【当期利益】	8,093	5.2	9,420	5.7	+ 1,326	116.4%	4,380	5.4	115.8%

※12/3月期 営業外収益に計上されている 障がい者雇用にかかわる補助金に配慮

補助金収入	611								
【営業利益】	14,832	9.5	15,890	9.6	+ 1,058	107.1%	7,400	9.1	107.4%

販売面 : 既存マーケットでのシェア拡大と、用途開発による新規マーケットへの進出を図る
 当社グループの物流ネットワークを最大限に生かし、商品取扱量の増加を図る

技術面 : 最新鋭の設備導入と更新を行い、製品の軽量化、素材切替、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進める

生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化

物流面 : 物流ネットワークの更なる整備により、流通全体でのトータルコスト削減と品質向上を図り、ピッキング需要の拡大に備える

環境面 : 発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、さらなる循環型社会の形成に努める

2013年3月期 経常利益 見通し



単位: 億円

上期 下期

2012年3月期 149.5億

上期 69.2億 下期 80.3億

-19億 原料値上り



原材料価格 依然高値圏で推移

+12億 製品値上げ効果(前期実施)



製品値上げ効果 '12年3月期第2四半期より効果

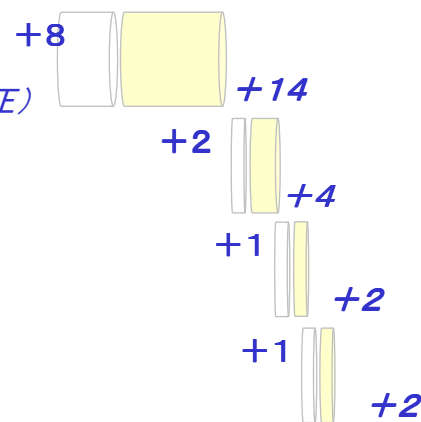
+34億 利益改善

+22億 販売増・MIX改善
(新製品効果・価格是正)

+6億 生産改善

+3億 物流改善

+3億 グループ会社 利益改善



販売計画

売上高 **1,650億** 106%

製品売上: **105%** +57億

製品数量: **106%**

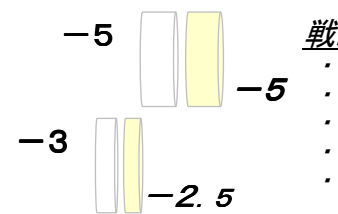
商品売上: **109%** +36億

※ 電力料上昇折込済み

-15.5億 経費増

-10億 戦略投資による経費増加

-5.5億 経費増加等



戦略投資

- ・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 稼動
- ・関東新工場 '12/5 稼動
- ・クロネス2号機 '12/6 稼動予定
- ・西宮、福岡ピッキングセンター拡充
- ・ダイヤフーズ設備更新

上期 75億 前期比 +6億 109% 下期 86億 前期比 +6億 107%

2013年3月期 161億 前期比 +12億 108%

世界初の素材・シート

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



新耐熱透明PP

- ★ 耐熱性がある: +120°C
- ★ 透明性がOPSに同等

PS:ポリスチレン



PSP:発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い



MFP:マルチFP

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 更なる軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い
- ★ 比重が大きい

二軸延伸PET

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSに同等
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい

素材別シェア(重量ベース)

PET(透明)

OPS(透明)

HIPS

OPS:延伸ポリスチレン

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性がある: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界



耐熱容器 販売状況



5つの新シート

① MFP(マルチFP) 耐寒耐熱発泡シート

- ★ 丼プロジェクト
- ★ MFP 端材活用



② 一軸延伸PET ②' エコAPシリーズを5月に上市

③ 二軸延伸PET



④ 耐熱透明PP > MFP本体 + PP透明蓋

⑤ 新ハイスター 新発泡PP

新機能

◎ 漏れにくい



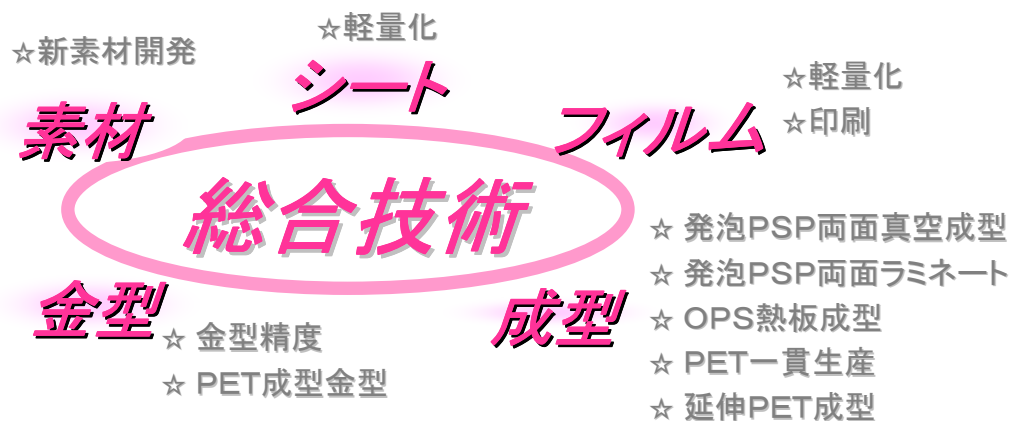
◎ ズレにくい



◎ 繰り返し使える



◎ オペレーションコストの削減



☆ 汎用製品の更なる競争力アップ☆

★ 価格+品質+機能、トータルで競争力のある製品作り

★ 総合技術で、更なる コスト削減と 機能アップ



新製品開発

提案・情報発信

- ・ エピコフェア
- ・ 商品提案会
- ・ テーマ別 提案
- ・ 商品作り・売場作り 提案

ニーズ・クレーム

顧客訪問

情報収集

- ・ 売場情報
- ・ 売筋情報

情報共有・分析

- ・ 売れNavi
- ・ お客様使用実例
- ・ 提案実例



エピコフェア2012

2012年2月22・23・24日
東京国際フォーラム

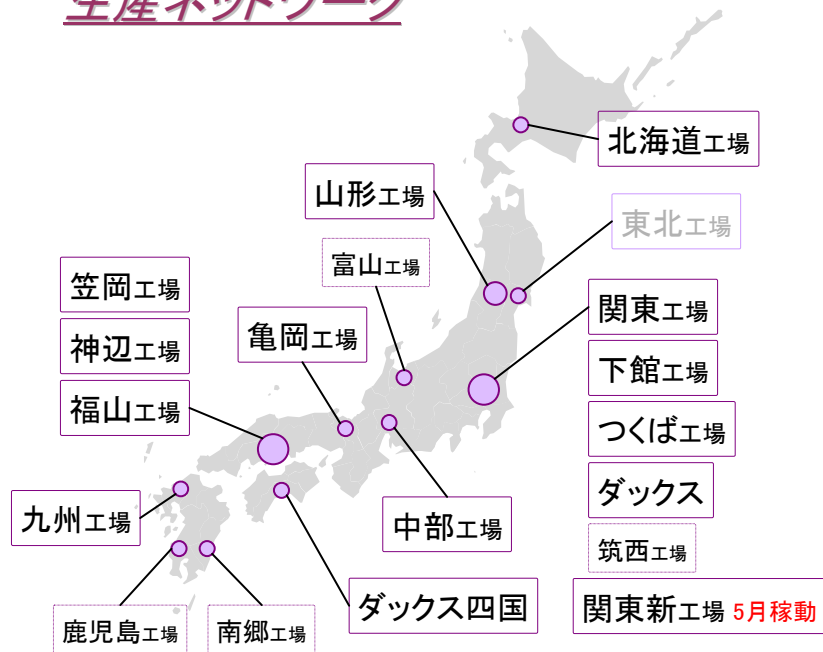
1万2千名の来場

今期 **1,800** 品種の新製品を投入

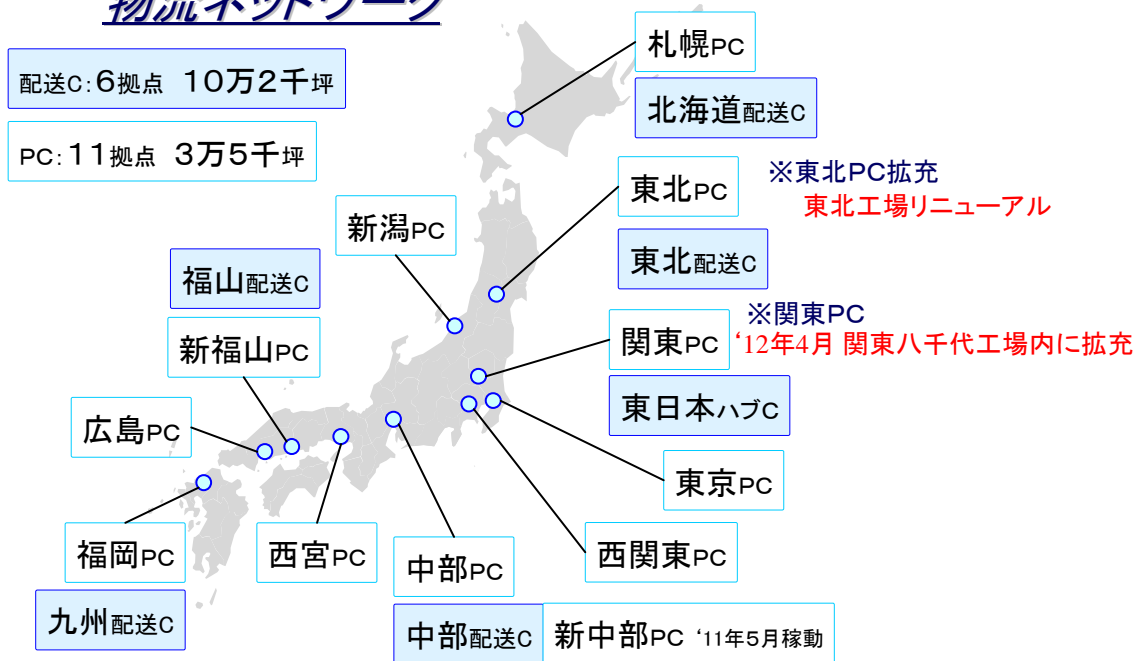
徹底した現場主義で情報収集と問題解決提案

全国を網羅する生産・物流ネットワーク

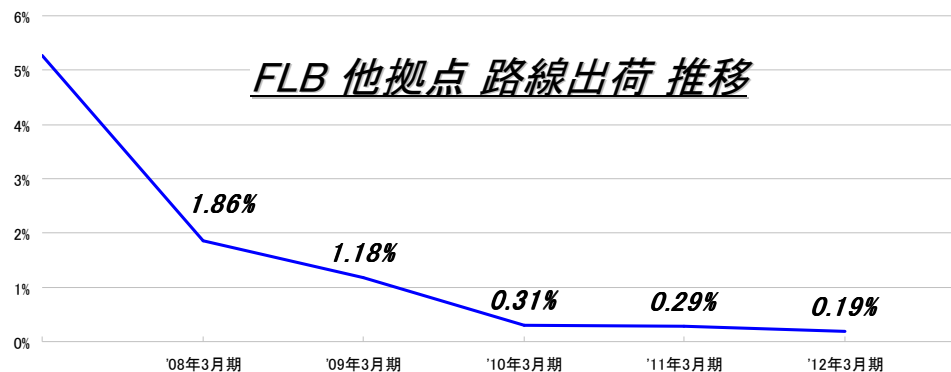
生産ネットワーク



物流ネットワーク



☆ 拠点生産への取組み ☆



FLB(汎用トレー)

需要地での生産比率 **97.07%**
 横持ち比率 **2.75%**
 他拠点路線出荷比率 **0.19%**

ピッキングネットワーク整備



ピッキング事業拡大に向け ネットワーク整備

包装資材・消耗品 マーケット

全国を網羅する
ピッキングセンター



2012年

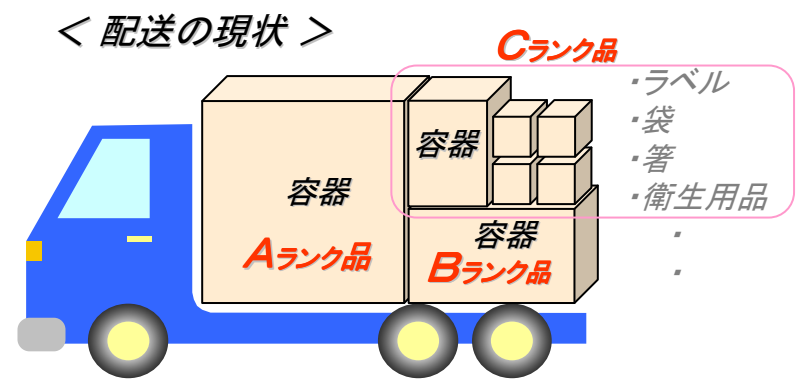
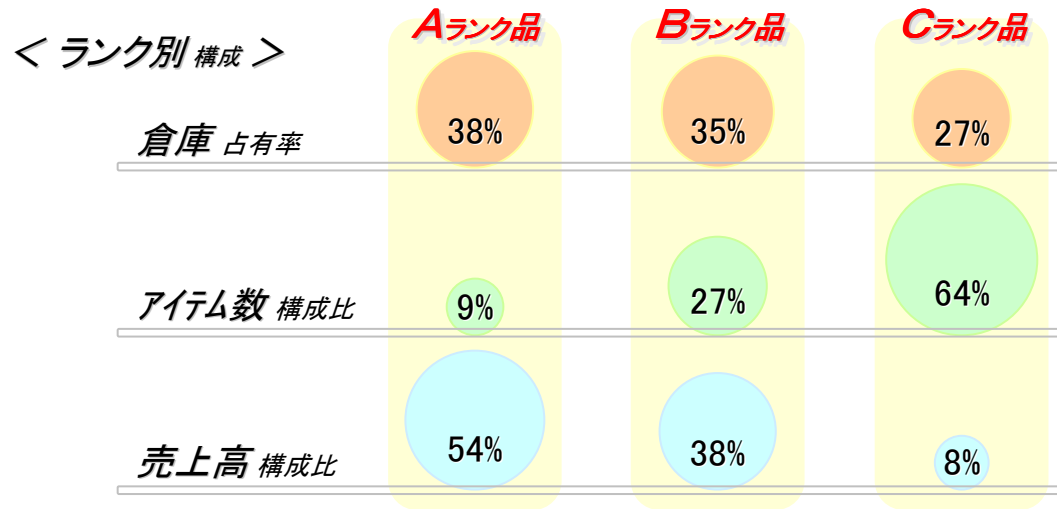
11拠点: 3万5千坪



2013年には 4万4千坪へ



包装資材・消耗品 マーケット へのアプローチ



容器物流をメインに流通全体のコスト削減

新リサイクルネットワーク



回収拠点 8,200ヶ所超 ('12年3月末)

地上資源の循環



配送の帰便で8,550トンの使用済み容器を回収 ('12年3月期)

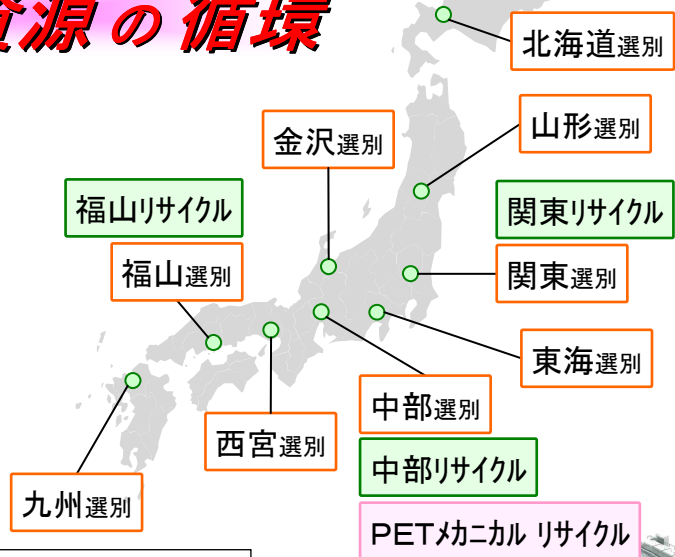
選別センター 9拠点



☆発泡トレ、透明容器の選別と減容

- ・発泡トレ > 白・カラーに選別
- ・透明容器 > 素材選別
- 選別後に減容

☆選別工程には障がい者の参画



'12年3月末、

障がい者雇用数: 678 法定雇用率: 16.3%
(雇用実人数399名)

※雇用数、雇用実人数には事業提携会社の38(29名)を含む
法定雇用率=グループ雇用数:640÷算定基準(パート含む):3,922=16.3%

減容し、
リサイクル工場へ移送

リサイクル工場 3拠点

PS容器 リサイクル工場 × 3

PETメカニカル リサイクル工場 × 1

PSペレット



PETフレーク



166億円の再商品化製品を販売 ('12年3月期)



'12年5月 エコAPシリーズ 上市

環境と障がい者雇用が一体化した事業

関東八千代工場(関東新工場)



投資総額87億



- 3層 延14,500坪
- 1階: 生産施設 6,300坪
 - PET二軸押出延伸設備
 - PET熱板成型設備
 - PSP真空成型設備
- 2階: ピッキング 3,500坪
- 3階: 倉庫施設 4,500坪
 - 外部借庫コストの圧縮
 - 拠点内物流効率の改善



PET二軸延伸シート 押出ライン: 全長93メートル



PET二軸延伸製品の生産拠点と関東ピッキングの拡充

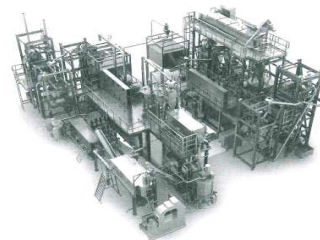
施設見学のご案内



中部施設見学を随時受付けています。

- ☆ 選別センター ・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別
- ☆ リサイクル工場 ・PS容器リサイクル
・PET容器リサイクル
- ☆ アイ・ロジック中部ピッキングセンター
中部第2配送センター
- ☆ 中部第2工場 ・PSP(発泡PS)容器生産

PETメカニカルリサイクルプラント



・PET容器リサイクル

・容器選別
・PS容器リサイクル



・アイ・ロジック中部ピッキングセンター
・中部第2配送センター



最新鋭の

生産 ~ 物流 ~ リサイクル をご覧いただけます。

- ・ JR東海 岐阜羽島駅が最寄り駅となります。
- ・ ご都合の良い日時で見学いただけます。
- ・ 見学時間は3時間程度です。
- ・ 経営企画室 児玉 03-5325-7756



関東八千代工場(関東新工場)も見学いただけます。

添付資料 1

販売計画 (2013年3月期)



単位:百万円	実績		計画				中間期		
	12/3月期	構成比	13/3月期	構成比	増減	前年比	構成比	前年比	
トレー 容器	28,681	18.4	29,660	18.0	+ 978	103.4%	14,720	18.1	103.7%
弁当・惣菜 容器	76,842	49.4	81,400	49.3	+ 4,557	105.9%	39,960	49.2	106.0%
小計	105,523	67.8	111,060	67.3	+ 5,535	105.2%	54,680	67.3	105.4%
その他 製品	7,566	4.9	7,740	4.7	+ 173	102.3%	3,920	4.8	101.1%
【製品】	113,090	72.6	118,800	72.0	+ 5,709	105.0%	58,600	72.1	105.1%
包装資材	33,627	21.6	37,000	22.4	+ 3,372	110.0%	18,170	22.3	108.9%
その他 商品	8,963	5.8	9,200	5.6	+ 236	102.6%	4,530	5.6	102.1%
【商品】	42,591	27.4	46,200	28.0	+ 3,608	108.5%	22,700	27.9	107.5%
【売上高】	155,681	100.0	165,000	100.0	+ 9,318	106.0%	81,300	100.0	105.7%

■製品

- ・出荷枚数 前年比106%伸長
- ・軽量化、素材切替、新素材開発、機能開発などにより、既存マーケットでのシェア拡大
- ・用途開発によるマーケット拡大
- ・エコAPシリーズ(再商品化製品)の上市

■商品

- ・グループの物流ネットワークを最大限に生かし、取扱量の増加

決算計画概要 (2013年3月期)



	実績		計画				中間期		
	12/3月期	構成比	13/3月期	構成比	増減	前年比	中間期	構成比	前年比
【純売上高】	155,681	100.0	165,000	100.0	+ 9,318	106.0%	81,300	100.0	105.7%
製品売上高	113,090	72.6	118,800	72.0	+ 5,709	105.0%	58,600	72.1	105.1%
商品売上高	42,591	27.4	46,200	28.0	+ 3,608	108.5%	22,700	27.9	107.5%
【営業利益】	14,221	9.1	15,890	9.6	+ 1,668	111.7%	7,400	9.1	112.3%
【経常利益】	14,951	9.6	16,100	9.8	+ 1,148	107.7%	7,500	9.2	108.4%
【当期利益】	8,093	5.2	9,420	5.7	+ 1,326	116.4%	4,380	5.4	115.8%

※12/3月期 営業外収益に計上されている 障がい者雇用にかかわる補助金に配慮

補助金収入	611								
【営業利益】	14,832	9.5	15,890	9.6	+ 1,058	107.1%	7,400	9.1	107.4%

販売面 : 既存マーケットでのシェア拡大と、用途開発による新規マーケットへの進出を図る

 当社グループの物流ネットワークを最大限に生かし、商品取扱量の増加を図る

技術面 : 最新鋭の設備導入と更新を行い、製品の軽量化、素材切替、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進める

生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化

物流面 : 物流ネットワークの更なる整備により、流通全体でのトータルコスト削減と品質向上を図り、ピッキング需要の拡大に備える

環境面 : 発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、さらなる循環型社会の形成に努める

設備投資・研究開発費計画 (2013年3月期)



	単位:百万円	実績	計画		中間期	
		12/3月期	13/3月期	増減	前年比	前年比
設備投資		12,423	14,500	+ 2,076	116.7%	12,100 209.2%
有形固定資産		12,093	14,100	+ 2,006	116.6%	11,900 210.6%
内、土地		403	1,100	+ 696		11,100
無形固定資産		329	400	+ 70	121.2%	200 149.7%
減価償却費		9,728	10,350	+ 621	106.4%	4,930 106.9%
研究開発費		1,051	1,090	+ 38	103.6%	540 109.7%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

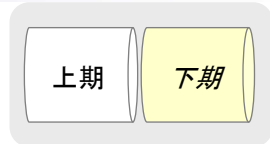
	百万円
◆関東八千代工場(関東新工場)	2,932 (投資総額 8,700百万円) '12/5 稼動
◆PETリサイクル工場設備	1,000 PETメカニカルリサイクルプラント2号機 (投資額 680百万円) '12/6 稼動予定
◆関西新ピッキングセンター	1,233 (投資総額 3,500百万円) '13/10 稼動予定
◆九州新倉庫	272 (投資総額 1,960百万円) '13/6 稼動予定
◆金型	1,691
◆IT投資	717

2012年3月期 経常利益 見通し

2011年11月14日 説明会 **< 見直し >**



単位: 億円

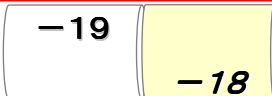


2011年3月期 経常利益 134.7億

上期 68.3億 下期 66.4億

'11年3月期 経常利益 134.7億

計画 +10億 (+3,+7)

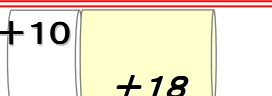


原料値上り -37億

原材料

'11年初旬より急騰

計画 -12億 (-5,-7)



製品値上げ +28億

製品値上

若干遅れるも、第2四半期より効果

販売増・新製品効果 +17億



利益改善 +37億

販売

☆ 製品数量計画107%

- 汎用製品の拡販とシェア拡大
- 新製品の拡販
- ミニフェア効果

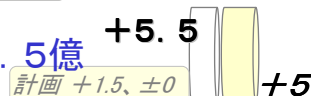
'12年3月期 販売計画 **1,600億** 114%

製品売上高: 前期比: **112%** +125億

製品売上数量: 前期比: **107%**

商品売上高: 前期比: **119%** +68億

生産改善 +10.5億



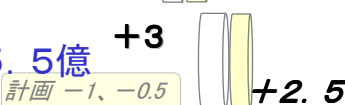
生産・物流、改善

製品数量増加+改善施策の効果

物流改善 +4億



グループ会社 利益改善 +5.5億



グループ会社

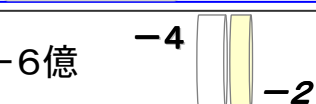
既存グループ会社の改善に加えて

- ・(株)アルライト
- ・インターパック(株)
- ・ダイヤフーズ(株)

のグループ会社が通年寄与

計画 +1億 (+1.5,-0.5)

戦略投資による経費増加 -6億

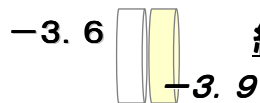


戦略投資

- ・アイ・ロジック中部ピッキング '11/5
- ・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 予定
- ・関東新工場 '12/4 予定

計画 +0.5億 (+4,+1)

経費増加等 -7.5億



経費 -13.5億

上期 69.2億 下期計画 80億
前期比 +0.9億 101.3% 前期比 +13.6億 120.5%

'12年3月期 経常利益

149億

前期比 +14.3% 110.7%

設備投資計画 120億

2012年3月期 経常利益計画 149億

2012年3月期 経常利益 計画

2011年5月10日 説明会

< 期初 > 単位: 億円



上期 下期

2011年3月期 経常利益 134.7億

上期 68.3億 下期 66.4億

'11年3月期 経常利益 134.7億

原料値上り -47億 -22 -25 原料値上り -47億

原材料 '11年初旬より急騰

製品値上げ +40億 +15 +25 製品値上げ +40億

販売 ☆ 製品値上・価格改定 平均10% ☆ 製品数量計画107% 汎用製品の拡販とシェア拡大 新製品の拡販 ミニフェア効果

販売増・新製品効果 +16億 +6 +10 利益改善 +36億

'12年3月期 販売計画 1,600億 114%
製品売上高: 前期比: 112% +125億
製品売上数量: 前期比: 107%
商品売上高: 前期比: 119% +68億

生産改善 +9億
物流改善 +4億

生産・物流、改善 製品数量増加+改善施策の効果

グループ会社 利益改善 +7億 +4 +5 +2 +2 +4 +3

グループ会社 既存グループ会社の改善に加えて
・(株)アルライト
・インターパック(株)
・ダイヤフーズ(株)
のグループ会社が通年寄与

戦略投資による経費増加 -6億 -4 -2 経費 -14億
経費増加等 -8億 -4 -4

戦略投資
・アイ・ロジック中部ピッキング '11/5 予定
・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 予定
・関東新工場 '12/4 予定

上期計画 69億 下期計画 80億
前期比 +1億 101% 前期比 +14億 121%

'12年3月期 経常利益 149億
前期比 +14億 111%

設備投資計画 109億

2012年3月期 経常利益計画 149億

經常利益 增減要因 推移



單位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期	46期 '08/3			47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 '12/3			51期 見通し '13/3		
						上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	43.4	37.8	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-19.0	-20.5	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0		-25.0									
									原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0									
									原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-7.0	-12.0	-19.0
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	-	+9.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0		+25.0				+10.0	+22.0	+32.0	+9.0	+3.0	+12.0
									第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0									
									第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0									
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+2.0	+1.0	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0				+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+3.0	+8.8	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0									
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+2.0	+1.0	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+2.0	+4.0	+6.0
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+2.5	+3.2	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+2.0	+3.0
グループ会社 利益改善												+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+1.0	+2.0	+3.0
美術品売却益			+1.0	-1.0					+4.0		+4.0	-4.0		-4.0									
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-1.9	-7.8	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.0	-7.5	-15.5
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75	86	161

設備投資・研究開発費 推移



単位: 百万円

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期 見通し
生産		山形工場			下館第二工場			太洋興業日本ハール容器 ウツ工場	ダイヤフーズ フードバック設備 アルライト		
					中部第二工場			九州第二工場	北海道工場増設	関東八千代工場	透明容器の強化 >
物流		東日本ハブC			関東八千代C				新福山PC		
		九州HC							新中部PC		
		関西HC								関東PC拡充	
		北海道HC				新北海道HC					物流ネットワーク整備 >
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場				容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場		
									新リサイクルネットワーク構築 >		
									中部 PETメカニカルリサイク		
											PETリサイクル事業 >
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物		ユカ商事		福岡PC土地
						関東新工場土地	中部地区土地・建物	インターパック			西宮PC土地

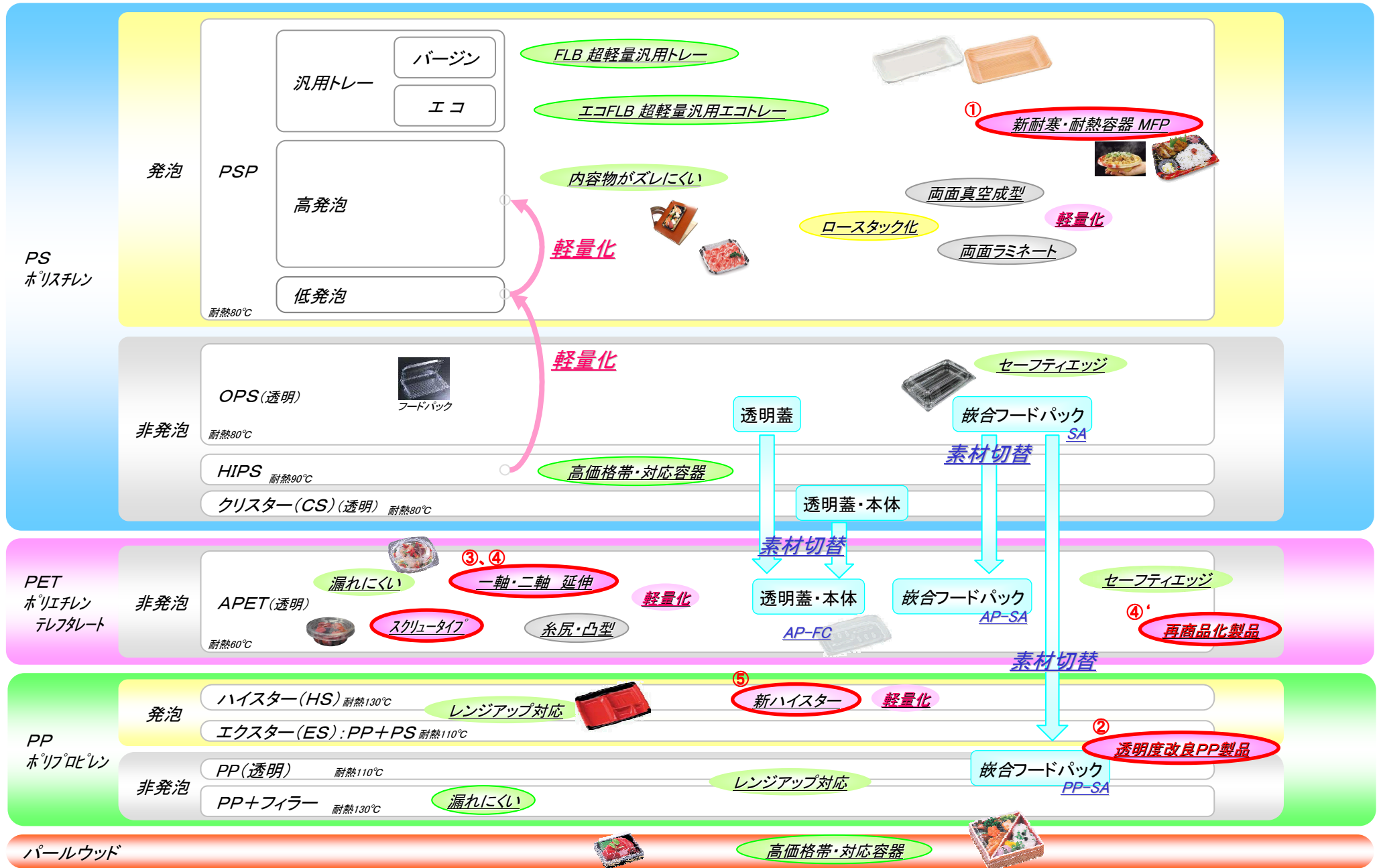
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	14,500
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,100
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	400
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,945	1,691
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	10,350
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,090

'03年3月期 '04年3月期 '05年3月期 '06年3月期 '07年3月期 '08年3月期 '09年3月期 '10年3月期 '11年3月期 '12年3月期 '13年3月期 見通し

>>'09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

添付資料 2

素材別 製品構成



選別センター 9拠点



<選別センター9拠点能力(常勤)>
 PSP:26ライン、10,600トン/年
 透明容器:13ライン、1,600トン/年

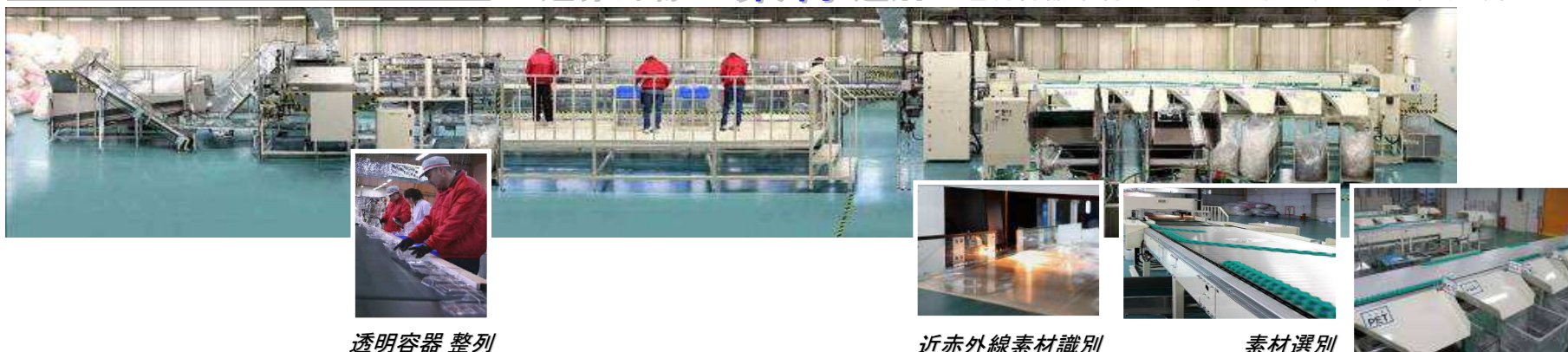
発泡PS容器 色選別ライン 白とカラーに手選別



障がい者の就労

- ・発泡PS容器 色選別作業
- ・透明容器 整列作業

透明容器 素材選別ライン 近赤外線で素材選別 透明容器素材:OPS、PET、PP、PVC、クリスター、他



透明容器 整列

近赤外線素材識別

素材選別



回収



選別



- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器
- ・PET透明容器



減容



リサイクル工場へ



リサイクル工場 3拠点

選別センター



減容/移送

・発泡PS容器
・OPS透明容器

・PET透明容器

<リサイクル工場3拠点能力>
PS:5,000ト/年(常勤)
PET:14,000ト/年

リサイクル工場

PS容器 リサイクルライン



166億円の販売
('12年3月期)

PETメカニカル リサイクルライン



'12年5月 エコAPシリーズ 上市

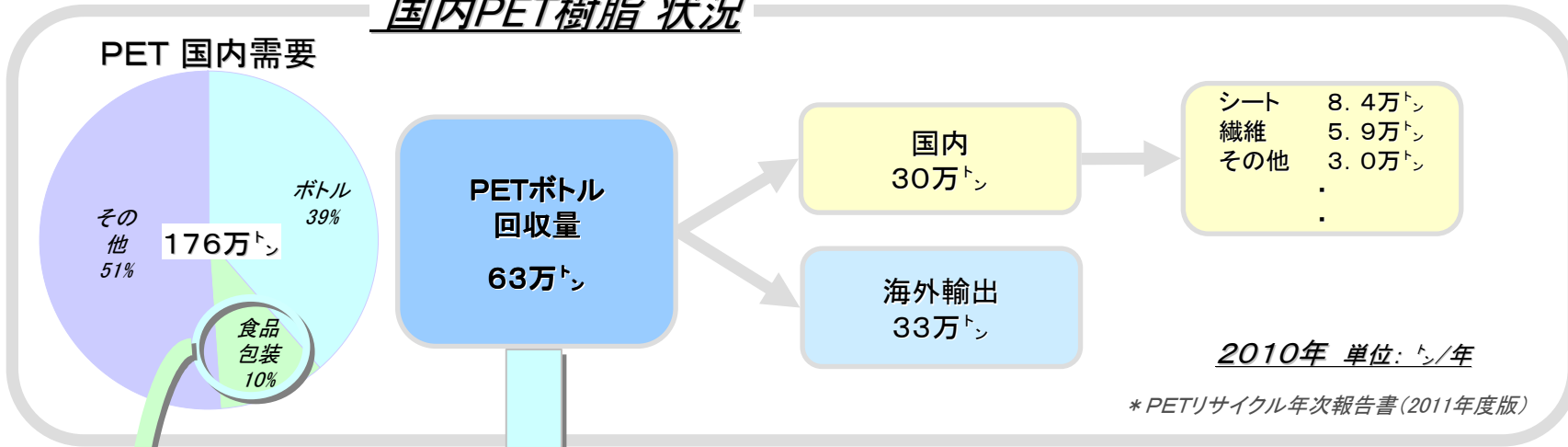


・PETボトル

PET透明容器でも リサイクル事業の確立へ

PETリサイクル

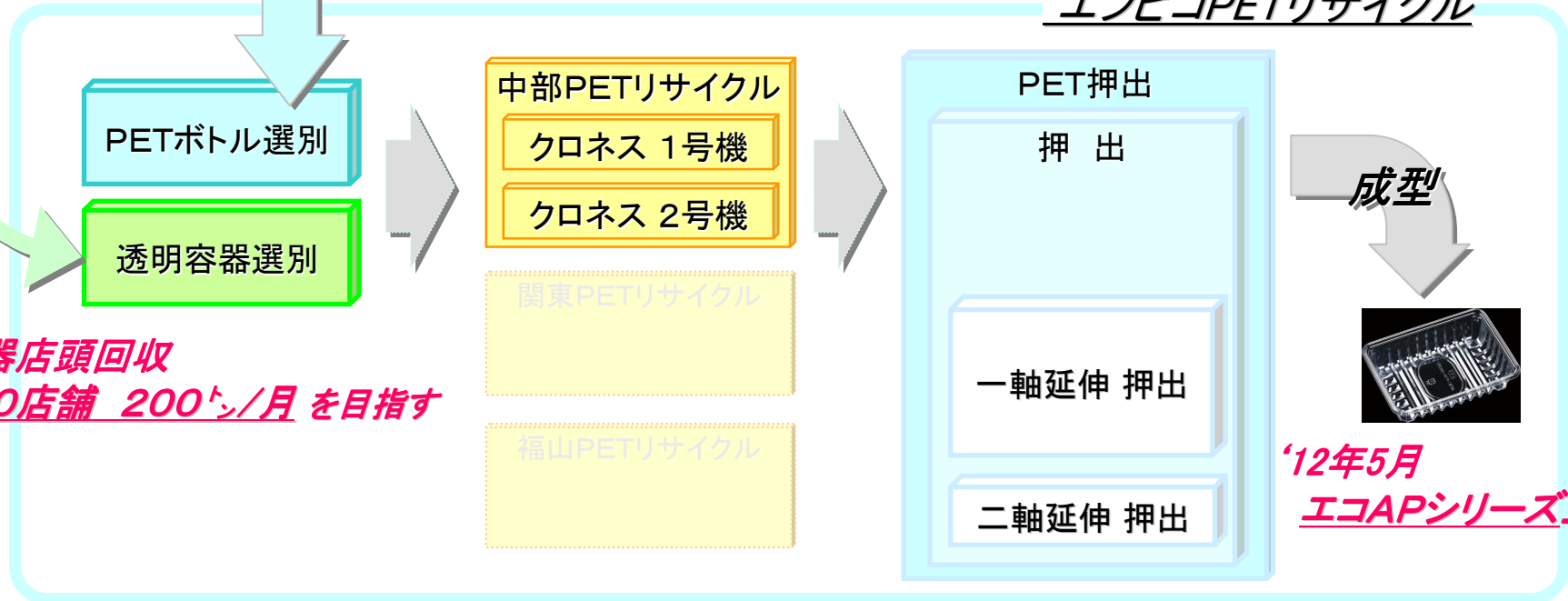
国内PET樹脂 状況



PETボトル店頭回収
1,500店舗 1,000トン/月 を目指す

PET透明容器店頭回収
5,000店舗 200トン/月 を目指す

エフピコPETリサイクル

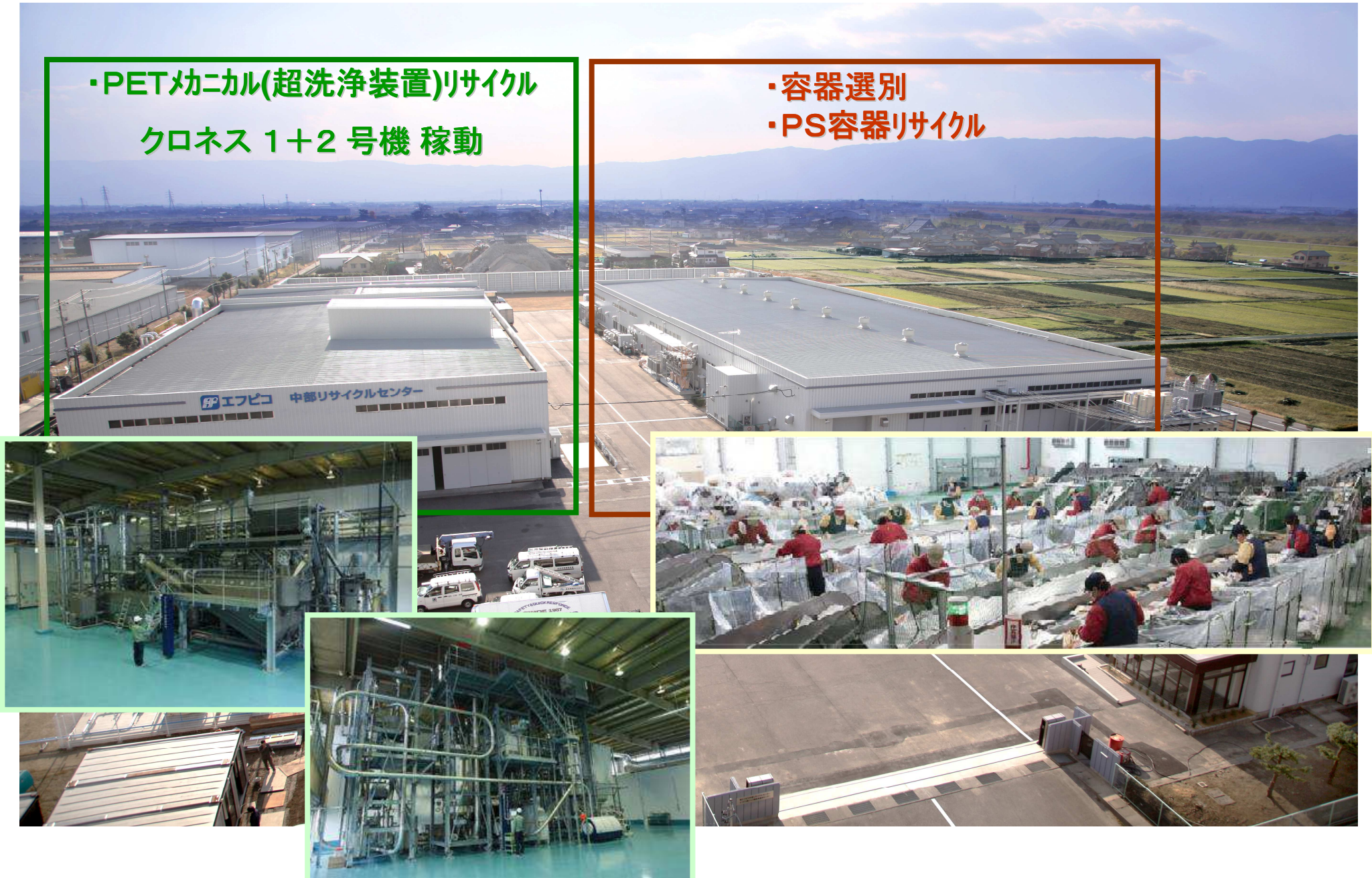


'12年5月 **エコAPシリーズ** 上市

中部リサイクル工場

- ・PET効カ(超洗浄装置)リサイクル
クロナス 1+2 号機 稼動

- ・容器選別
- ・PS容器リサイクル





2007年4月
 第一回「平成18年度容器包装3R推進 環境大臣賞」
 製品部門 最優秀賞を受賞

http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_2_approach/



2009年3月
 (社)全国重度障害者雇用事業所協会より
 障がい者雇用優良企業認定を取得
 (ハートフル・リボン・マーク)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaisha/dl/110420-1.pdf>



2011年2月
 (財)日本環境協会より
 第一回「エコマークアワード2010」金賞を受賞

http://www.ecomark.jp/award/award_2010.html



2011年4月
 環境大臣に対し環境先進企業として「エコ・ファーストの約束」を行い
 「エコ・ファースト企業」として認定

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/index.html>